

ツシマヤマネコの「ヒナタ」が死亡しました



元気な頃の「ヒナタ」

よこはま動物園で飼育していたツシマヤマネコの「ヒナタ」が死亡しましたので、お知らせします。

○ツシマヤマネコ「ヒナタ」

- (1) 性 別 メス
- (2) 出 生 日 平成 13 年 4 月 16 日 (18 歳)
- (3) 死 亡 日 時 令和元年 12 月 6 日 (金) 死亡確認
- (4) 死 因 不明 (調査中)
- (5) 経 過 12 月 3 日に動作緩慢が見られ、保温等の対応を行いました。4 日の採食時に倒れたため治療を開始しました。6 日に死亡しました。

●ヒナタのプロフィール

ヒナタは、平成28年11月30日に名古屋市立東山動植物園から来園しました。ヒナタはこれまでに3頭の子どもを出産しました。

健康管理の一環としてハズバンダリートレーニング(※)を実施することで動物福祉に配慮した飼育管理を行いつつ、よこはま動物園では飼育下繁殖の推進を目的に、外部機関と共同で栄養評価に関する研究に取り組んでおり、ヒナタもその対象として貢献していました。

(※) 動物に負担のかからない健康管理を行うためのトレーニング



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 渡辺 武志 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■ツシマヤマネコについて

| | |
|-----------------|---|
| 和名 | ツシマヤマネコ |
| 英名 | Tsushima Leopard Cat |
| 学名 | <i>Prionailurus bengalensis euptilurus</i> |
| 分類 | 食肉目 ネコ科 |
| 分布 | 日本 長崎県対馬 |
| 生態 | 長崎県の対馬にだけ生息する野生のネコです。島の住民には「トラヤマ」と呼ばれています。東南アジアから中国・朝鮮半島まで広く分布するベンガルヤマネコの亜種だとされています。大きさは普通の飼い猫と同じくらいですが、耳の後ろの白い斑紋と、太くて長い尻尾が特徴です。対馬では絶滅が危惧されています。国の天然記念物に指定されています。 |
| ワシントン条約 (CITES) | 附属書Ⅱ 現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの |
| 環境省レッドリスト | 絶滅危惧ⅠA類 (CR) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの |
| その他 | 天然記念物 国内希少野生動植物種 |
| 当園飼育頭数 | 3頭 (オス2頭、メス1頭) ※令和元年12月7日現在 ※今回死亡した個体は含まず |
| 国内飼育頭数 | 9施設 31頭 (オス16頭、メス15頭) ※令和元年11月30日現在 ※今回死亡した個体は含まず |

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）、12/29～1/1
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000